



報道関係者各位

【カタールW杯に関するアンケート調査結果】

森保監督続投 賛成多数

日本代表 MVP投票1位:堂安律、知名度アップ1位:三笥薫

中継観戦率1位:日本 vs ドイツ、観戦満足率1位:日本 vs スペイン

サッカー関心層約9割がVAR支持、ABEMA・ブラボー流行は若年中心

産業能率大学スポーツマネジメント研究所（所長：中川直樹 情報マネジメント学部教授）は、FIFA ワールドカップ 2022 カタール大会直後に、日本代表選手に関する認知度や MVP の投票、森保監督続投の是非等に関する意識調査を、大会直前に実施した1万人アンケートの追跡調査として、全国の1,000人に対して実施しました。

日本代表選手に関する調査

順位	MVP		知名度アップ			
	選手名	得票数	選手名	事前認知率	事後認知率	上昇 Pt
1位	堂安律	199票	三笥薫	28.3%	57.3%	29.0
2位	三笥薫	188票	権田修一	26.7%	51.7%	25.0
3位	権田修一	70票	田中碧	20.3%	43.6%	23.3
4位	長友佑都	18票	堂安律	40.2%	62.3%	22.1
5位	吉田麻也	16票	浅野拓磨	27.4%	43.5%	16.1

中継視聴と満足率に関する調査

順位	観戦率		満足率			
	試合	観戦率	試合・セレモニー	視聴数	満足数	満足率
1位	【グループE】 日本 2-1 ドイツ	49.5%	【グループE】 日本 2-1 スペイン	479	413	86.2%
2位	【グループE】 日本 2-1 スペイン	47.9%	【グループE】 日本 2-1 ドイツ	495	414	83.6%
3位	【グループE】 日本 0-1 コスタリカ	47.3%	【決勝】 アルゼンチン 3-3 フランス (PK 4-2)	292	219	75.0%
4位	【ラウンド16】 日本 1-1 クロアチア (PK 1-3)	45.3%	表彰式	57	35	61.4%
5位	【決勝】 アルゼンチン 3-3 フランス (PK 4-2)	29.2%	【準々決勝】 アルゼンチン 3-3 オランダ (PK 4-3)	72	43	59.7%



結果概要

1. 日本代表選手に関する調査

MVP投票は、大会2得点を挙げた堂安律選手が199票を集めて1位、VARを経て劇的アシストを記録した三苫薫選手が188票で2位、強豪相手にスーパーセーブを連発した守護神・権田修一選手が70票の3位となりました。「ブラボー！」でムードを高めた長友佑都選手が4位、キャプテンとしてチームをまとめた吉田麻也選手が5位と続きました。なお、「一人に絞れない」「全員がMVP」といった意見は50票に及び、チーム一丸での善戦が感動を呼んだようです。

大会前後で知名度を上げた選手は、MVPの上位にも名を連ねた三苫薫選手が1位、権田修一選手が2位、堂安律選手が4位となりました。3位は「三苫の一ミリ」からのゴールを決めた田中碧選手、5位にはドイツ戦で世界的キーパー・ノイアー選手の頭上を抜く勝ち越しゴールを決めた浅野拓磨選手が入りました。

2. 中継視聴と満足率に関する調査

中継観戦率40%超えは日本戦の4試合で、中でも初戦のドイツ戦が1位、決勝トーナメント進出をかけたグループリーグ最終戦のスペイン戦が2位となりました。いずれもW杯優勝経験国との好カードで、前者は日本時間の22時、後者は早朝4時の開始にも関わらず高観戦率となりました。日本戦に続く5位は決勝戦のアルゼンチンvsフランス戦で、こちらも24時開始ながら、観戦率は30%に迫り、最後まで多くの人がカタール大会に惹きつけられたことを物語っています。

独自の指標「満足率」（視聴数に占める満足数）では、1位の日本vsスペイン戦、2位の日本vsドイツ戦がともに80%を超える驚異的な満足率を記録し、決勝戦の75%を上回りました。メッシ選手が悲願の栄冠を手にした表彰式が4位、5位は観戦率7.2%ながら、コアファンを唸らせた準々決勝の死闘アルゼンチンvsオランダ戦が入りました。ラウンド16の日本vsクロアチア戦も6位につけ、敗れはしましたが十分に健闘が讃えられる試合となったことが窺えます。

3. 森保監督続投の是非に関する調査

昨年末12月28日に森保監督の続投が正式決定しました。大会直後に実施した本調査の結果においても、反対5.8%に対して賛成45.0%、サッカー無関心層を除くと、過半数が「続投が望ましい」とする立場でした。ドイツ・スペイン撃破という前人未踏の金字塔と、奢らない性格の良さが人望を集めており、世論にも配慮した決定といえるでしょう。

ただしサッカー観戦の熱心度別に掘り下げると、「普段からサッカー観戦層」では交代が望ましいと考える率が14.6%、「どちらともいえない」と合わせると40%を超えていました。コアなサッカーファンの中には納得していない層も少なくないことから、今後も厳しい目に晒されるプレッシャーに堪えながら、森保監督は高レベルの采配が求められ続けていくことになりそうです。

4. カタールW杯に関するその他の意識調査

森保監督の続投反対派が新監督の候補として挙げた最多得票は、元日本代表の本田圭佑氏でした（12票）。今回のW杯は、本田氏が解説者を務めたABEMAが全試合を無料生中継したことも大きな話題を呼びました。しかし調査データを掘り下げると、W杯を機にABEMAを利用するようになったのは特定の層、すなわち若年層および「普段からサッカー観戦層」が中心であることが明らかとなりました。「ブラボー」の流行についても同様です。

日本代表への関心アップや、決勝トーナメント進出を決定づけたVAR（ビデオアシスタント・レフリー）の肯定率は年配層の方が高いものの、「普段からサッカー中継を観たくなった」「Jリーグ観戦に行きたくなった」の回答者は若年およびコア層に偏っています。「日本はサッカー強豪国になった」「W杯での目標をベスト8ではなく優勝にすべき」という肯定率は、どの層でも半数を下回っており、多くの国民が日本の実力を過信することなくリアリストと言えます。そのような現状の中、いかにサッカーの裾野を拡げ、日本代表が成長を遂げるか、本研究所では今後も調査を通じて、その動向に注視していきます。



1-1. MVP投票

1位：堂安律（199票）

- 途中出場でゴールを決めたことが試合の流れを変えたと思う。強気のコメントも裏切らなかった！有言実行でしっかりゴールを決められた決定力は賞賛に値するのでは。他選手より絶対的に抜き出ていた！（静岡県 60代女性）
- 冷静に試合を見ていて判断力も技術もサッカーが分からない私にも凄さが伝わってきた。そして、ずっと冷静に見えていた堂安選手がクロアチアに負けた時に見せた涙でもらい泣きました。（北海道 30代女性）

2位：三苫薫（188票）

- 三苫の1ミリ、本当にドラマティックだったから。（大阪府 40代女性）
- 彼の投入後 明らかに日本に流れがかたむいた。素晴らしいドリブル突破で相手に脅威を与えた。諦めずにボールを追いそれが決勝点となった。（埼玉県 20代男性）

3位：権田修一（70票）

- 素晴らしいセービングを連発して、日本代表の失点を回避した。（愛知県 20代男性）
- ドイツ戦での守り。止めまくった姿に感動したし、あれがなかったら敗退していた。（香川県 60代女性）

4位：長友佑都（18票）

- ブラボーというインパクトあるセリフを残し、大会を盛り上げた。（大阪府 30代女性）
- 元気でみんなを勇気づけたから。（栃木県 60代男性）

5位：吉田麻也（16票）

- キャプテンとしての姿勢が良かった。（東京都 50代女性）
- ニッポンチームをまとめた功績。守りもしっかりしていて隠れた MVP だと思う。（長崎県 60代女性）

6位：遠藤航（14票）

- 中盤のせめぎあいでの、遠藤選手のボール奪取の動きは凄すぎるから。（千葉県 50代男性）

7位：浅野拓磨（13票）

- ドイツ戦で決勝点をあげたから。（岩手県 60代男性）

8位：田中碧（11票）

- ボールから目はずすことなくゴールに導いたので。（京都府 50代女性）

8位：前田大然（11票）

- いつも献身的に走る。トップ位置でのあのディフェンス意識は素晴らしいと思う。（大阪府 60代男性）

参考：一人に絞れない、全員が MVP など（計 50票）

- 今回の素晴らしい戦いは、チームの総合力だと思う。みんなが MVP。（北海道 50代男性）



1-2. 知名度アップ

順位	背番号	選手名	ポジション	知名度UP ポイント	事前調査		事後調査	
					順位	認知率	順位	認知率
1	9	三笥薫	MF/FW	29.0	10	28.3%	5	57.3%
2	12	権田修一	GK	25.0	12	26.7%	7	51.7%
3	17	田中碧	MF/FW	23.4	17	20.3%	9	43.7%
4	8	堂安律	MF/FW	22.1	6	40.2%	2	62.3%
5	18	浅野拓磨	MF/FW	16.1	11	27.4%	10	43.5%
6	25	前田大然	MF/FW	15.3	15	22.5%	13	37.8%
7	15	鎌田大地	MF/FW	12.5	16	21.0%	16	33.5%
8	22	吉田麻也	DF	10.6	3	51.0%	3	61.6%
9	14	伊東純也	MF/FW	9.9	14	22.9%	17	32.8%
10	16	富安健洋	DF	9.8	13	26.1%	15	35.9%
11	4	板倉滉	DF	9.6	21	13.1%	18	22.7%
12	6	遠藤航	MF/FW	9.5	9	30.2%	12	39.7%
13	5	長友佑都	DF	8.7	1	63.1%	1	71.8%
14	3	谷口彰悟	DF	7.6	22	12.3%	20	19.9%
15	10	南野拓実	MF/FW	7.2	8	33.4%	11	40.6%
16	26	伊藤洋輝	DF	6.9	25	9.6%	23	16.5%
17	13	守田英正	MF/FW	6.2	23	10.5%	22	16.7%
18	11	久保建英	MF/FW	4.8	4	50.9%	6	55.7%
19	19	酒井宏樹	DF	3.5	7	34.3%	13	37.8%
20	2	山根視来	DF	2.7	26	9.3%	25	12.0%
21	7	柴崎岳	MF/FW	2.6	5	41.4%	8	44.0%
22	24	相馬勇紀	MF/FW	2.2	18	18.7%	19	20.9%
23	1	川島永嗣	GK	2.1	2	59.3%	4	61.4%
24	23	シュミットダニエル	GK	1.8	19	18.0%	21	19.8%
25	21	上田綺世	MF/FW	0.8	20	14.2%	24	15.0%
26	20	町野修斗	MF/FW	-0.5	24	9.7%	26	9.2%



2-1. 中継視聴・観戦率 TOP20

順位	日付	日本時間	試合・セレモニー	視聴・観戦率
1	11月23日(水)	22時	【グループE】日本 2-1 ドイツ	49.5%
2	12月1日(木)	翌4時	【グループE】日本 2-1 スペイン	47.9%
3	11月27日(日)	19時	【グループE】日本 0-1 コスタリカ	47.3%
4	12月5日(月)	24時	【ラウンド16】日本 1 (1) - (3) 1 クロアチア	45.3%
5	12月18日(日)	24時	【決勝】アルゼンチン 3 (4) - (2) 3 フランス	29.2%
6	12月13日(火)	翌4時	【準決勝】アルゼンチン 3-0 クロアチア	13.2%
7	12月17日(土)	24時	【3位決定戦】クロアチア 2-1 モロッコ	13.1%
8	12月14日(水)	翌4時	【準決勝】フランス 2-0 モロッコ	10.2%
9	11月20日(日)	24時	開会式	10.1%
10	12月9日(金)	24時	【準々決勝】クロアチア 1 (4) - (2) 1 ブラジル	10.0%
11	12月10日(土)	翌4時	【準々決勝】フランス 2-1 イングランド	8.4%
12	12月9日(金)	翌4時	【準々決勝】アルゼンチン 2 (4) - (3) 2 オランダ	7.2%
13	11月22日(火)	19時	【グループC】サウジアラビア 2-1 アルゼンチン	7.1%
14	12月10日(土)	24時	【準々決勝】モロッコ 1-0 ポルトガル	6.2%
15	11月21日(月)	22時	【グループB】イングランド 6-2 イラン	6.1%
16	11月20日(日)	翌1時	【グループA】エクアドル 2-0 カタール	5.8%
17	12月18日(日)	翌2時過ぎ	表彰式	5.7%
18	12月4日(日)	24時	【ラウンド16】フランス 3-1 ポーランド	5.5%
19	12月6日(火)	24時	【ラウンド16】モロッコ 0 (3) - (0) 0 スペイン	5.0%
20	11月24日(木)	22時	【グループH】ウルグアイ 0-0 韓国	4.9%
	11月28日(月)	翌1時	【グループG】ブラジル 1-0 スイス	

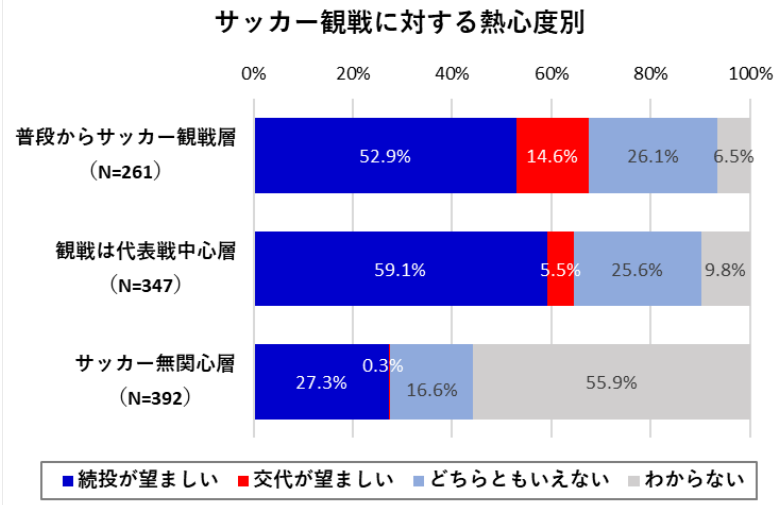
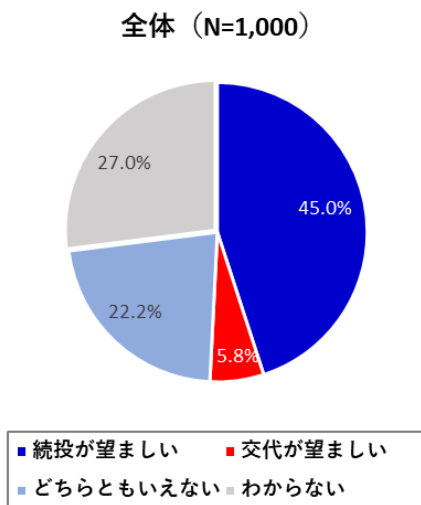
2-2. 満足率 TOP10

順位	日付	試合・セレモニー	視聴・観戦率	満足率
1	12月1日(木)	【グループE】日本 2-1 スペイン	47.9%	86.2%
2	11月23日(水)	【グループE】日本 2-1 ドイツ	49.5%	83.6%
3	12月18日(日)	【決勝】アルゼンチン 3 (4) - (2) 3 フランス	29.2%	75.0%
4	12月18日(日)	表彰式	5.7%	61.4%
5	12月9日(金)	【準々決勝】アルゼンチン 2 (4) - (3) 2 オランダ	7.2%	59.7%
6	12月5日(月)	【ラウンド16】日本 1 (1) - (3) 1 クロアチア	45.3%	58.5%
7	12月10日(土)	【準々決勝】モロッコ 1-0 ポルトガル	6.2%	56.5%
8	12月10日(土)	【準々決勝】フランス 2-1 イングランド	8.4%	52.4%
9	12月13日(火)	【準決勝】アルゼンチン 3-0 クロアチア	13.2%	52.3%
10	12月17日(土)	【3位決定戦】クロアチア 2-1 モロッコ	13.1%	50.4%

(注) 青字は日本戦。() は PK 戦のスコア。満足率は視聴・観戦率 5%以上の試合・セレモニーが対象。



3. 森保監督続投の是非に関する調査



続投が望ましい (45.0%)

- 試合の内容も、チームの雰囲気もとても良く、期待以上の成果をあげたので続投してほしい。(東京都 30代女性)
- 今回、何種類もの戦い方を含め、多くの準備をされてきたことは、4試合での戦い方を見て、容易に想像できる。この4試合での経験は選手とも共有されたものであると考える。この共有されたイメージは、新チームでの大きな土台になると予想されるため。(愛知県 50代男性)
- 冷静で紳士的。森保監督のおかげで日本の素晴らしさが海外に伝わるような気がする。勝つことも一番だが、私たち日本人は勝つ前に礼儀などをスポーツで学んできているから、それを体現してくれる。(熊本県 30代女性)

交代が望ましい (5.8%)

- 結果的に本大会ではうまくいったが、相手を圧倒して勝ったわけではない。一旦交代して、日本代表をさらに成長させてくれる監督を希望する。その上でまたいつか森保さんに指揮してもらいたい。(東京都 40代男性)
- 長期政権になると選手のモチベーション、選手選考などがマンネリ化すると思う。(神奈川県 40代男性)

どちらともいえない (22.2%)

- ジャイアントキリングはやったが、目標の達成が出来ていないから悩ましい。(千葉県 40代男性)
- 海外の監督を一度迎えてから、森保監督に戻るのもいいのではないかと思うから。(愛知県 20代女性)
- 戦術には不満があるが、後任に誰がいいかが思いつかない。(東京都 50代男性)

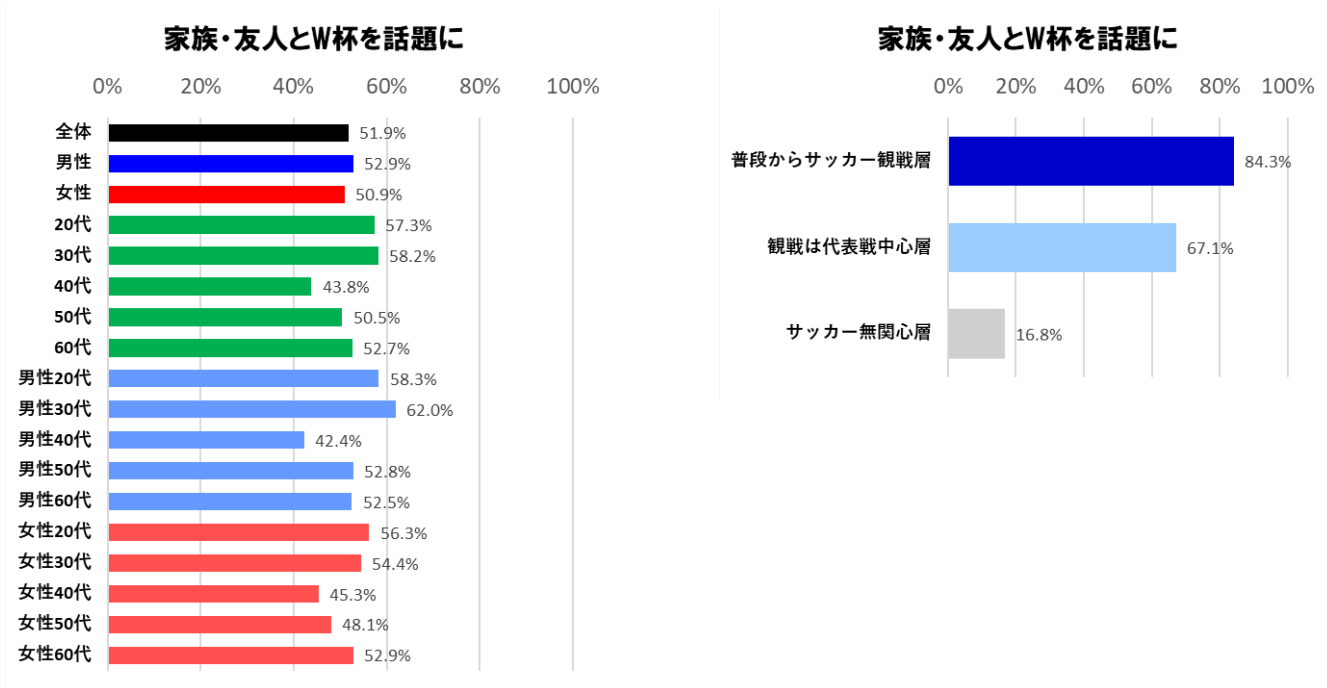
交代するなら新監督に推したい人物

- 1位：本田圭佑 (12票)
- 2位：アーセン・ベンゲル (3票)
- 3位：ジョゼ・モウリーニョ、マルセロ・ビエルサ、中田英寿、三浦知良、長谷部誠 (各2票)

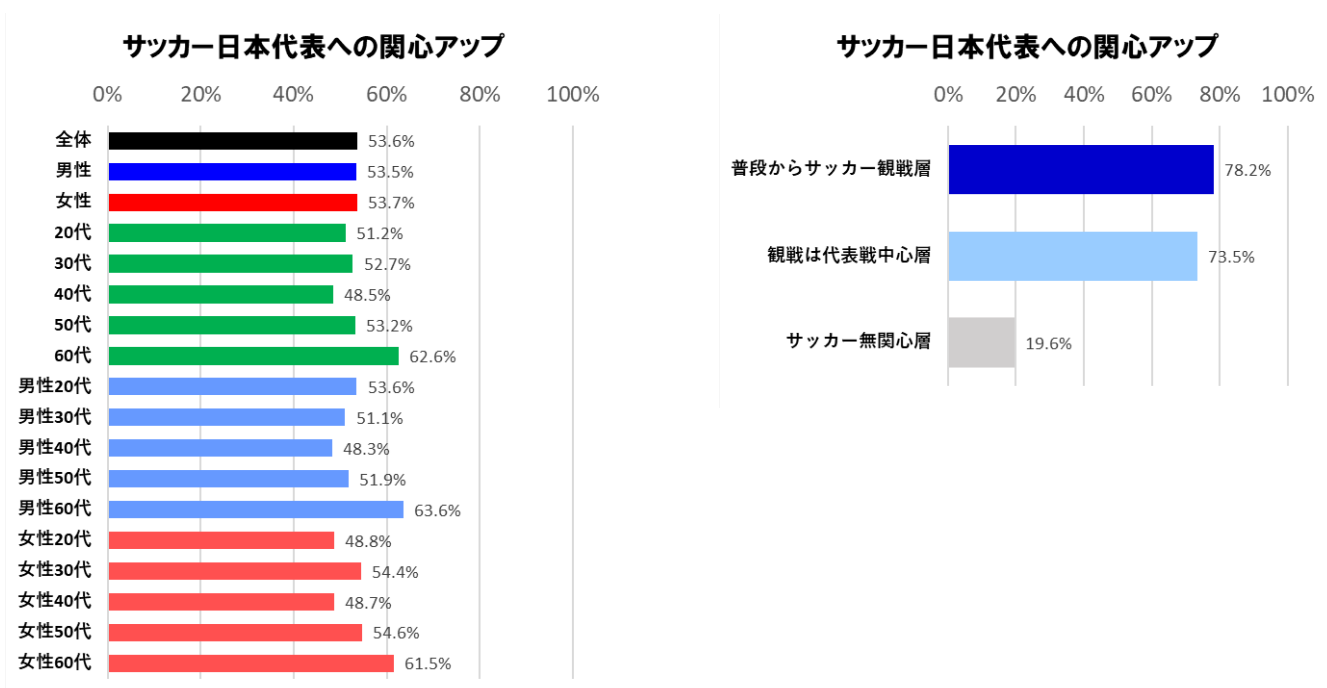


4. カタールW杯に関するその他の意識調査

Q1. 大会期間中、家族・友人とW杯の話題で盛り上がった（全体 51.9%）

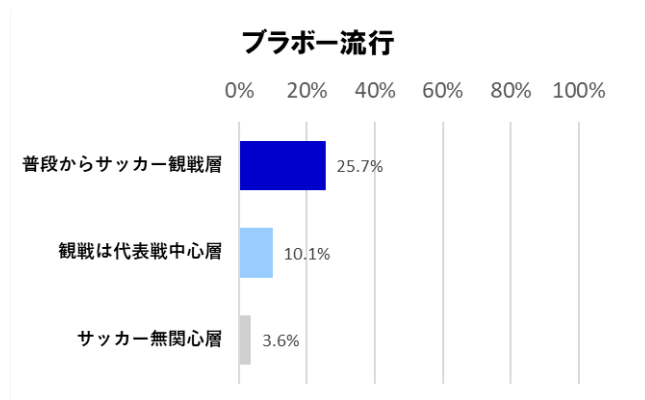
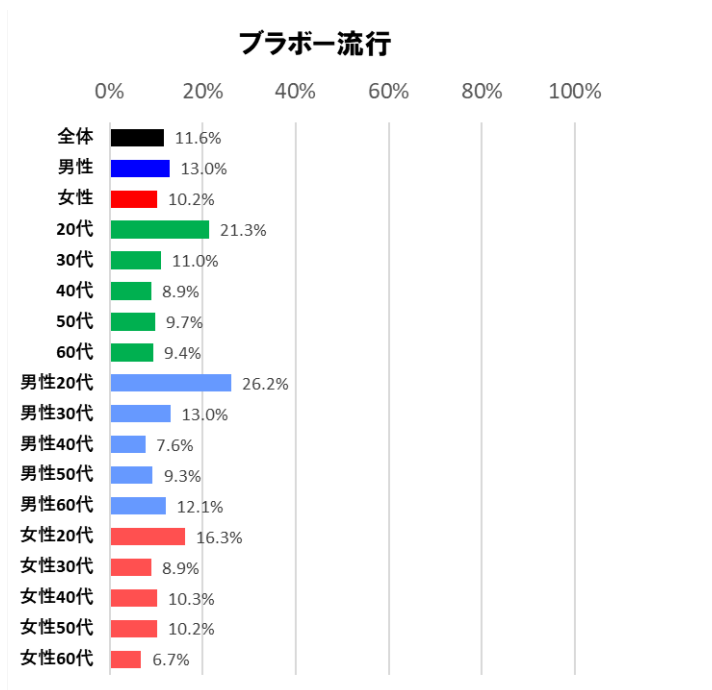


Q2. W杯を通じて、日本代表への関心が高まった（全体 53.6%）

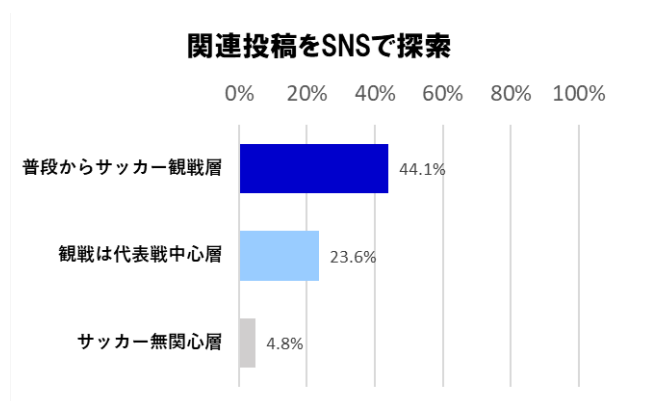
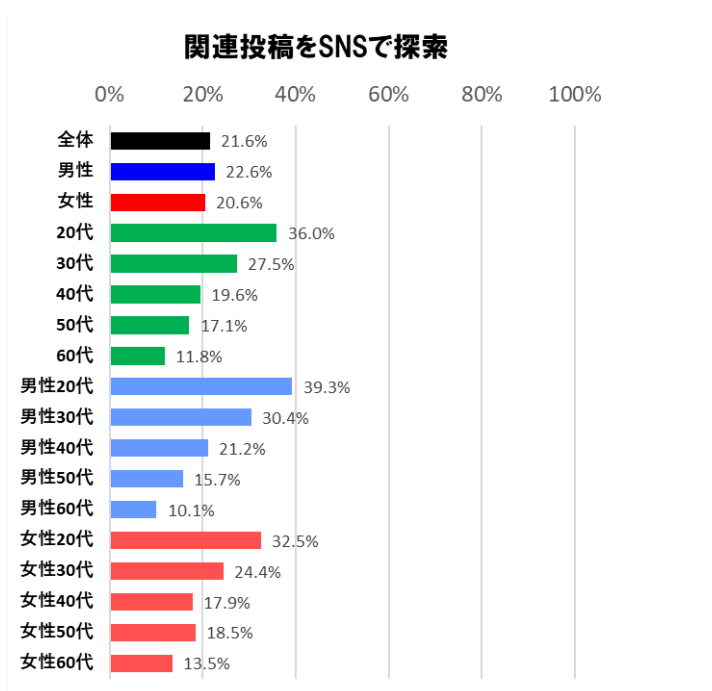




Q3. 自分の周りで「ブラボー」が流行っている（全体 11.6%）

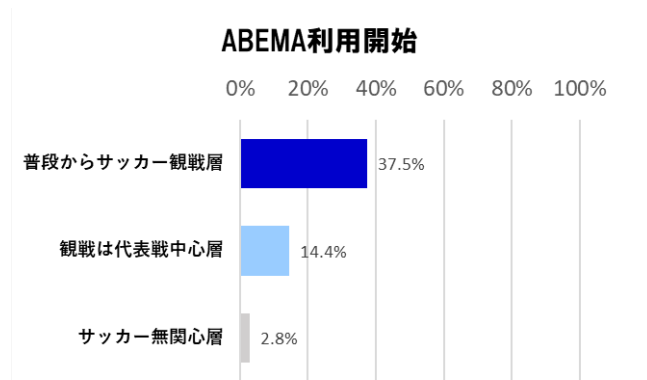
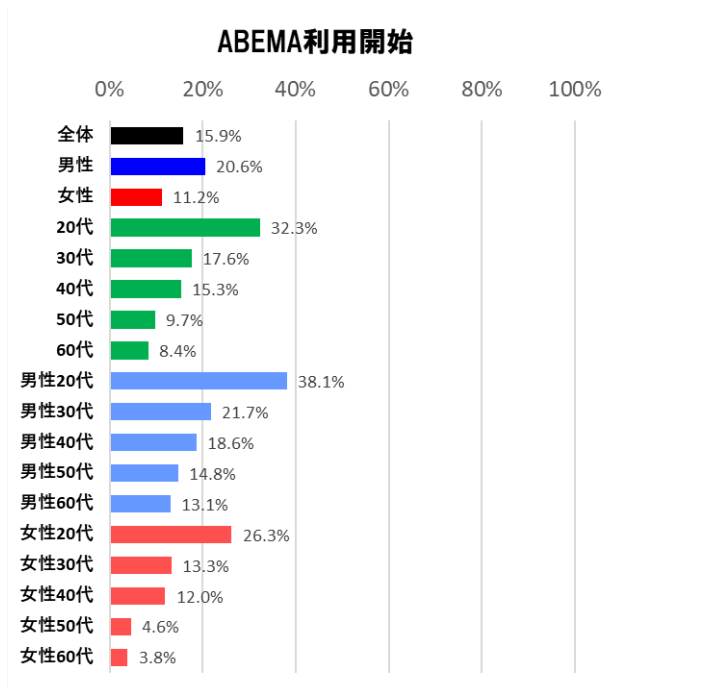


Q4. 大会期間中、SNSでW杯関連の投稿をよく追った（全体 21.6%）

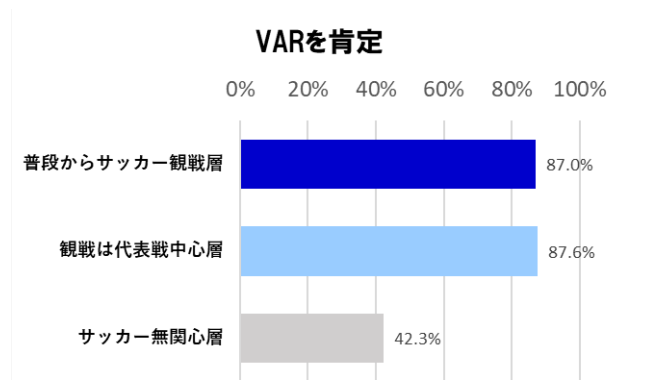
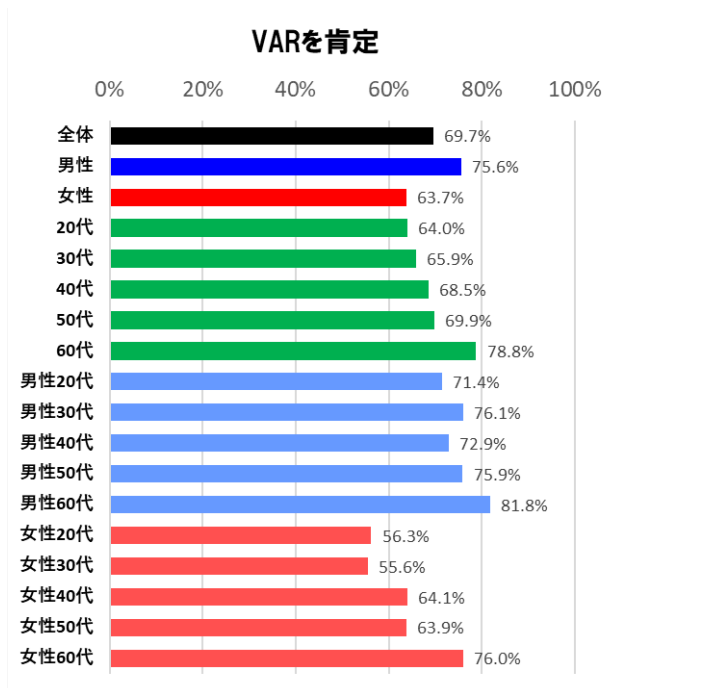




Q5. W杯をきっかけに、ABEMAを利用ようになった（全体 15.9%）

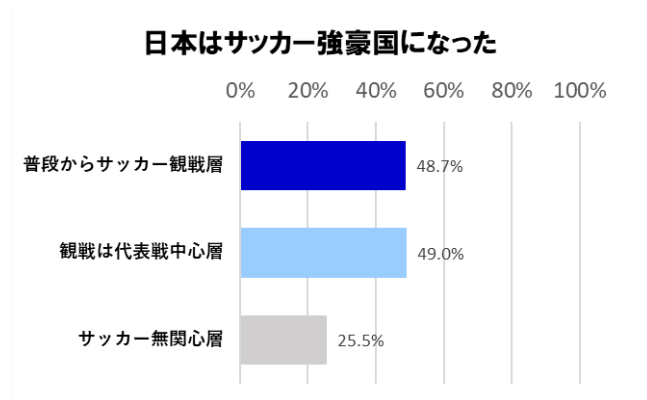
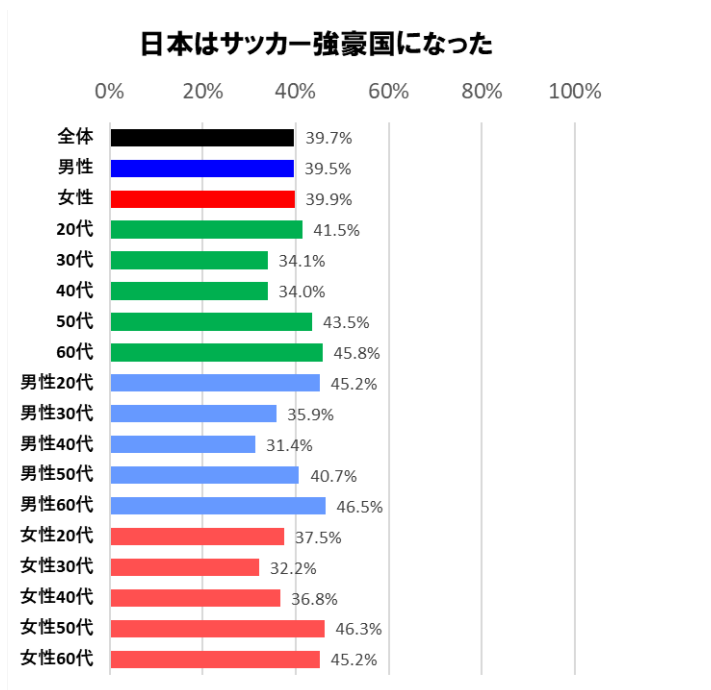


Q6. VAR（ビデオ・アシスタント・レフリー）は優れた制度だと思う（全体 69.7%）

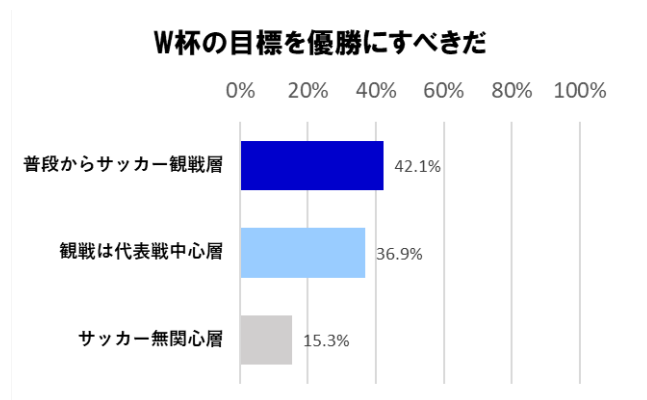
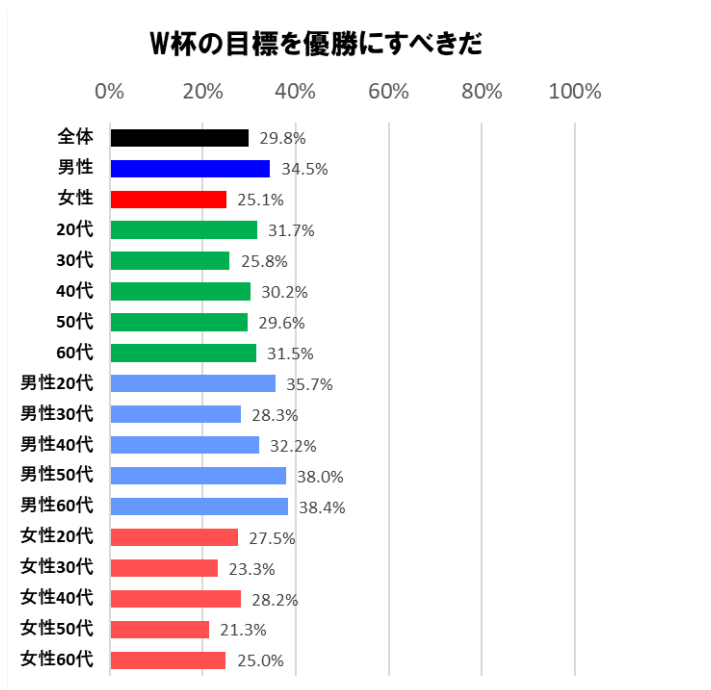




Q7. 日本はサッカー強豪国になったと言ってよい (全体 39.7%)



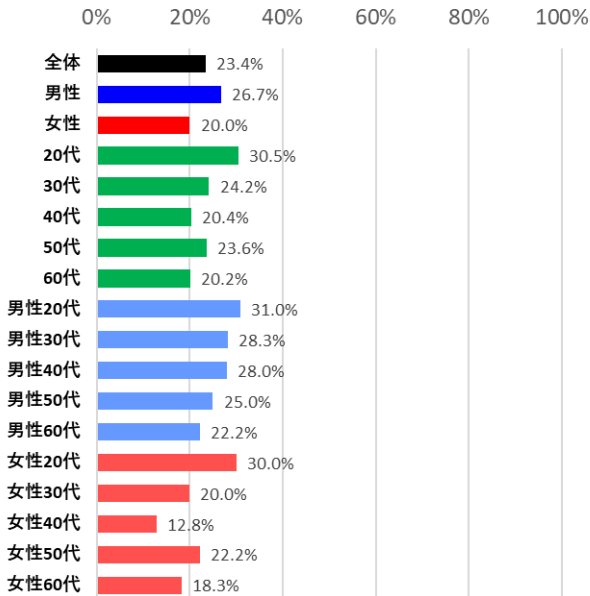
Q8. 日本代表のW杯での目標を、ベスト8ではなく優勝にすべきだ (全体 29.8%)



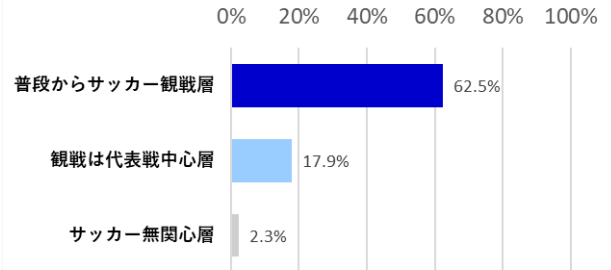


Q9. 普段からサッカー中継を観戦しようと思った（全体 23.4%）

普段からサッカー中継を観たくなった

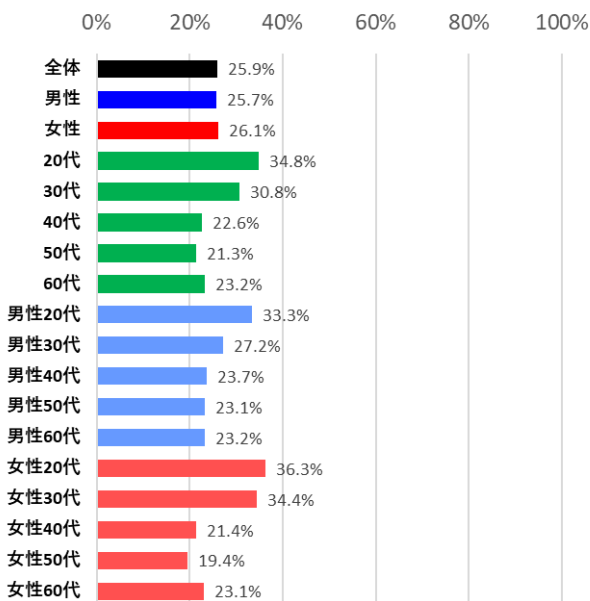


普段からサッカー中継を観たくなった

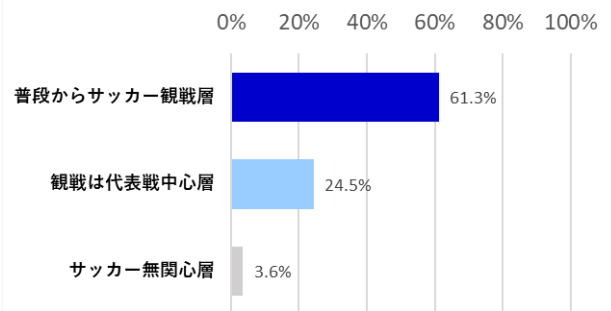


Q10. スタジアムにJリーグ観戦に行ってみたい気持ちになった（全体 25.9%）

Jリーグ観戦に行きたくなった



Jリーグ観戦に行きたくなった





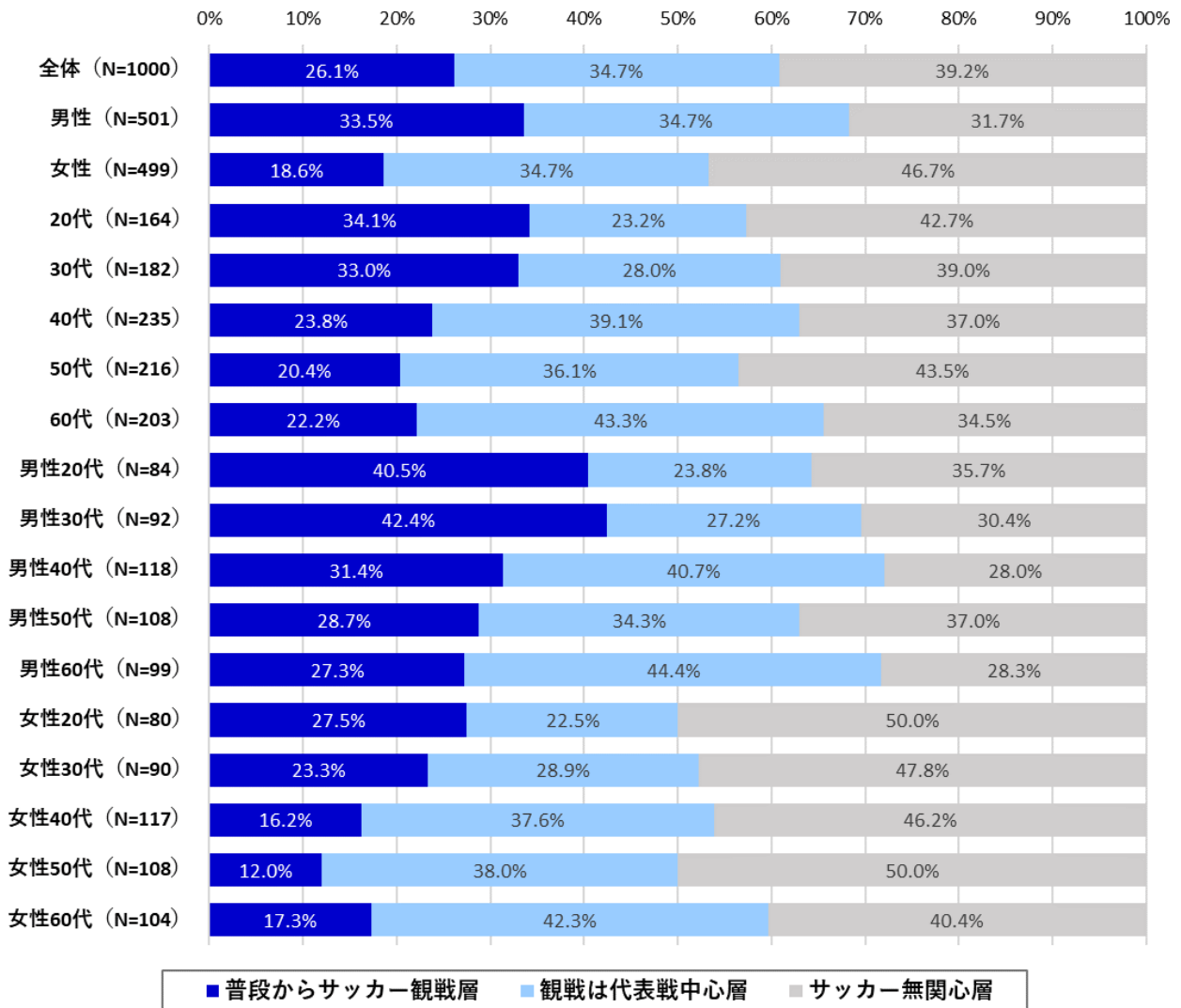
【調査概要】

調査方法：インターネットリサーチ

調査期間：2022年12月21日～23日の3日間

調査対象：予備調査対象者の1,000人に追跡調査（地域・性年代構成比は総務省最新推計に準拠）

※予備調査は2022年11月9日～11日の3日間、20歳から69歳までの全国1万人に対して実施



調査担当：小野田哲弥（産業能率大学スポーツマネジメント研究所研究員／情報マネジメント学部教授）

集計協力：北村凌匠・原優太・松任勇武（小野田ゼミ）

※「観戦」の定義は回答者に委ねています。ABEMAを含むことに加え、リアルタイムではなく、録画やダイジェストで試合を観た場合も含まれている可能性があります。

【産業能率大学】

■ホームページ：<https://www.sanno.ac.jp/>

◆本件に関するご取材・お問い合わせ◆

産業能率大学 企画課

〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15

Email：kikaku@hj.sanno.ac.jp TEL:03-3704-0731